

専門教育科目		講義科目	
科目名：高年齢者心理学		科目コード	HJ19
科目主査：杉山 美香		単位	2
担当講師：井島 由佳、杉山 美香		配当年次	1
授業の目的と概要		グループワーク： ☒ あり ☐ なし	個人ワーク： ☒ あり ☐ なし
かつて老年期は、人生区分の最終段階であり、身体の高化とともに心理的衰退をみる時期とされていました。しかし、高齢化社会を迎えている現在においては、あてはまらなくなっていると言ってもよいのではないのでしょうか。本科目では、老年期における心理を、幼児期から成人期までの発達段階での生き方を通して学んでいきます。将来の自分の身近な事柄として学ぶことで、理解を深めます。			
履修の前提となる科目	☐ あり ☒ なし	科目名：	
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら、マーキングしましょう。		
テキスト	『最新老年心理学－老年精神医学に求められる心理学とは－』松田 修, ワールドプランニング, 最新版		
この科目の到達目標	①加齢に関する変化や、高齢者特有の精神疾患とその対応について説明することができる。 ②高齢者を取り巻く制度や社会について説明することができる。 ③高齢者心理学に関する理論を基に、自分の考えを理論的に述べるすることができる。		
成績評価の方法	テキストの理解度をみるための理解度テストを実施します。事前にテキストを読み込み、学習して下さい。 最終試験は出題文章の選択式問題と論述問題を出題します。授業をきちんと聞くこと、重要な点はノートにまとめてください。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。		
事後学習	参考文献はもちろん、国の介護予防・生活支援総合事業や認知症施策が掲載されている厚生労働省のホームページ、内閣府の高齢者社会白書などを活用し、見識を広めましょう。		
事後学習の参考文献	『よくわかる高齢者心理学』 佐藤真一, 権藤恭之, ミネルヴァ書房, 2016年 『エイジング心理学 老いについての理解と支援』 谷口 幸一・佐藤 真一（編）, 北大路書房, 2007年 『高齢者心理学』佐藤真一（編）, 北大路書房, 2019年		
スクーリング受講時に用意するもの ☒ テキスト ☒ 筆記用具 ☒ カメラ・マイクは必須となります。			